

- 問1 奈良時代にまとめられた日本最古の歌集で、天皇や貴族から、東国から九州の警備に赴いた防人（さきもり）まで、幅広い層の人々の歌が収められている作品はどれか。 (2020年 岡山県公立入試 類似)
1. 竹取物語 2. 新古今和歌集 3. 万葉集 4. 古今和歌集
-
- 問2 8世紀、奈良の平城京を中心に、仏教の力で国家を守ろうとする「鎮護国家」の思想に基づいた政策が行われました。この政策を推進した聖武天皇が行った内容として最も適切なものを次の中から選んでください。 (2016年 長崎県公立入試 類似)
1. 都に東大寺と大仏を建立し、全国の各地方には国分寺・国分尼寺を建てさせた。 2. 都を平安京へと遷し、比叡山に延暦寺を建立させて新しい仏教の普及を図った。 3. 飛鳥の地に法隆寺を建立し、十七条の憲法を制定して役人の心構えを説いた。 4. 唐から鑑真を招いて唐招提寺を建立し、正しい戒律を広めることで国家の安定を図った。
-
- 問3 律令制が整えられた時期、政府は戸籍を作成して人々の把握に努めました。この戸籍に基づいて行われた「班田収授法」の内容として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
1. 平城京の周辺にある土地を、功績のあった役人に対して永久に与える制度。 2. 有力な貴族や寺社が所有する大規模な私有地を、国家の直轄地として没収する制度。 3. 新しく開墾した土地を、三世代にわたって私有することを認める制度。 4. 6歳以上の男女に口分田を与え、死亡した際にはその土地を国に返還させる制度。
-
- 問4 奈良時代の東大寺に位置し、三角形の材木を組み上げて壁を作る「校倉造（あぜくらづくり）」という建築様式で建てられた建物を何というか。この建物には、聖武天皇ゆかりの品々や、当時の国際的な交流を示す宝物が数多く収蔵されている。 (2017年 山口県公立入試 類似)
1. 唐招提寺金堂 2. 正倉院 3. 法隆寺金堂 4. 薬師寺東塔
-
- 問5 奈良時代の代表的な建築物の一つに、東大寺にある「正倉院」があります。この建物には校倉造（あぜくらづくり）という建築様式が採用されていますが、ここに納められた多くの宝物が、現在まで良好な状態で保存されている理由や背景を説明した文として正しいものはどれですか。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)
1. 推古天皇が仏教を保護し、日本で最初の本格的な仏教文化を後世に残すための倉庫としたため。 2. 聖武天皇の遺品を中心に、遣唐使が持ち帰った唐や西アジアの文物が納められ、厳重に管理されてきたため。 3. 鑑真が来日した際、唐の最新の保存技術を日本に伝え、専用の博物館として建立されたため。 4. 藤原道長ら貴族が私財を投じて、日本独自の文化である国風文化の産物を守ろうとしたため。
-
- 問6 律令時代の戸籍に、53歳の男性（戸主）、52歳の女性、29歳の男性、25歳の女性、1歳の男児の計5名からなる家族が記されているとします。この家族のうち、乳児を除く男女4名に「口分田」が割り当てられている状況において、彼らが負担した「租」という税の仕組みとして正しい説明を選びなさい。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
1. 成人男性のみが負担し、都へ出向して10日間働くかわりに布を納める。 2. 北海道の開拓に従事する屯田兵として、防衛と農業を兼務する。 3. 割り当てられた口分田の面積に応じて、収穫した稲を納める。 4. その土地の特産品である絹や糸などを、都まで運んで納める。
-
- 問7 聖武天皇が全国に国分寺・国分尼寺を建立し、平城京に東大寺と大仏を造営した背景にある政治的な目的や考え方として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 富山県公立入試 類似)
1. 仏教の力によって国家の災いを取り除き、社会の安定と平和を維持しようとする考え方 2. 儒教の教えを政治の根本に据え、家臣が天皇に対して絶対的な忠誠を誓う仕組みを作るため 3. 遣隋使を派遣することで大陸の進んだ文化を輸入し、天皇の権威を海外に知らしめるため 4. 厳しい修行を積んだ者だけが救われるという教えを広め、貴族の特権を排除しようとするため
-
- 問8 律令国家における地方統治の仕組みにおいて、都から全国の「国」に派遣され、徴税や裁判などの地方行政を担った官吏を何と呼びますか。 (2026年 長野県公立入試 類似)
1. 国司 2. 郡司 3. 防人 4. 太宰府
-
- 問9 日本の歴史区分において、奈良時代は飛鳥時代と平安時代の間に位置する8世紀の時代を指します。この時期に成立した『日本書紀』の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2018年 広島県公立入試 類似)
1. 杉田玄白らがオランダ語の医学書を翻訳して出版した、日本の近代医学の先駆けとなる書物である 2. 中国の歴史書の形式にならって、神話から持統天皇までの出来事を漢文で記した公式の歴史書である 3. 紫式部によって執筆され、当時の宮廷社会における女性の生き方や価値観を描いた物語である 4. 後鳥羽上皇の命によって編纂された、日本独自の抒情的な感情を重視する歌集である
-
- 問10 班田収授法を適正に運用するために、政府が6年ごとに作成し、人々の氏名や性別、年齢などを記録した資料を何といいますか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
1. 検地帳 2. 計帳 3. 戸籍 4. 風土記
-
- 問11 奈良時代の政治の中心地であった平城京の様子について、当時の都市計画や社会状況を説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
1. 広い道路が通り、碁盤の目のように整然と区画されており、都の東西にある市では各地の産物が売買されていた。 2. 日本独自の文化を強調するため大陸の影響を排除して設計され、地方からの産物はすべて貴族にのみ分配された。 3. 外敵の侵入を防ぐために複雑に入り組んだ道路が作られ、約60年間にわたって政治の中心として機能した。 4. 大規模な堀と石垣で囲まれた城郭都市として発展し、唐の長安を模した円形の区画の中に役所が集中していた。
-
- 問12 古代の日本は、唐の進んだ文化や仏教を学ぶために遣唐使を派遣しました。この交流に関連して、日本へ渡る際に何度も遭難し、視力を失うなどの苦難を乗り越えて来日した様子が『東征伝絵巻』などに描かれている、奈良時代を代表する僧侶は誰ですか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
1. 中世の時代に渡来した僧侶 2. 朱印船の船長 3. 足利義満 4. 鑑真
-
- 問13 現在の奈良県に位置するかつての政治・宗教の中心地である平城京において、鑑真が私邸を与えられて建立した寺院はどれですか。この寺院には、唐の建築様式を今に伝える金堂などが残されています。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
1. 法隆寺 2. 興福寺 3. 東大寺 4. 唐招提寺

答え合わせ・解説

問1	答え 3 万葉集	万葉集は奈良時代末期に成立した日本最古の歌集です。その最大の特徴は、収録されている歌が天皇や貴族といった特権階級のものだけでなく、防人や農民といった庶民の歌まで含まれている点にあります。これに対し、古今和歌集は平安時代に成立した最初の勅撰和歌集であり、時代や性質が異なります。
問2	答え 1 都に東大寺と大仏を建立し、全国の各地方には国分寺・国分尼寺を建てさせた。	聖武天皇は、当時相次いでいた大規模な地震や天然痘の流行、政治的な混乱などの社会不安を仏教の力によって鎮め、国を守ろうと考えました。この思想を具現化するため、中央（平城京）には総国分寺としての役割を持つ東大寺と本尊の大仏を造営し、地方の各国には国分寺と国分尼寺を配置するネットワークを整備しました。
問3	答え 4 6歳以上の男女に口分田を与え、死亡した際にはその土地を国に返還させる制度。	律令国家の形成期において、国家は「租」という税を確実に集めるために、班田収授法を確立しました。戸籍をもとに6歳以上の男女に口分田を割り当て、労働力を把握すると同時に、土地の売買や世襲を禁じることで、国家による土地支配を維持しようとした。これに対して、後に制定された「墾田永年私財法」は、開墾した土地の永年私有を認めるものであり、班田収授法の崩壊につながる出来事でした。
問4	答え 2 正倉院	東大寺の境内に位置する正倉院は、聖武天皇の死後、皇后の光明皇后が天皇ゆかりの品（遺愛品）を大仏に献納したことからその歴史が始まりました。湿気を防ぐのに適した校倉造という特殊な建築技法を用いることで、1000年以上の時を超えて貴重な宝物が守られてきました。
問5	答え 2 聖武天皇の遺品を中心に、遣唐使が持ち帰った唐や西アジアの文物が納められ、厳重に管理されてきたため。	正倉院は、聖武天皇の没後に光明皇后が天皇ゆかりの品々を東大寺に献納したことに始まります。宝物には唐の文化だけでなく、シルクロードを介してもたらされたペルシャやインドの影響を受けたものが多く含まれており、天平文化の国際性を証明する歴史的資料となっています。木材を組み上げた校倉造の構造が湿度の調節に役立ったことも、保存状態が良かった一因とされています。
問6	答え 3 割り当てられた口分田の面積に応じて、収穫した稲を納める。	律令制度下の「租」は、性別に関係なく、口分田を割り当てられた者すべてがその面積に応じて負担する税でした。提示された家族構成では、6歳以上の男女が対象となるため、1歳の乳児を除く4名がそれぞれの口分田に応じた稲を納めることになります。選択肢にある屯田兵は明治時代の制度であり、律令制とは関係ありません。
問7	答え 1 仏教の力によって国家の災いを取り除き、社会の安定と平和を維持しようとする考え方	聖武天皇が推進した「鎮護国家」の思想は、仏教という宗教の力で国家を守ろうとするものでした。当時の日本は、天然痘の流行による人口減少や、貴族間の激しい政争など、多くの社会不安を抱えていました。天皇は、都に東大寺を、地方（国）ごとに国分寺・国分尼寺を建立することで、仏教のネットワークを通じて国全体を治め、災厄を払おうと試みたのです。
問8	答え 1 国司	律令制下では、全国を「国・郡・里」という単位に区切って統治しました。そのうち「国」の行政を司るために中央（都）から派遣されたのが国司です。これに対し、国司の下で「郡」の行政を担当したのは、地元の有力豪族から任命された郡司です。国司は任期がある派遣官僚であるのに対し、郡司は世襲的にその土地を治める者が選ばれるという違いがあります。
問9	答え 2 中国の歴史書の形式にならって、神話から持統天皇までの出来事を漢文で記した公式の歴史書である	奈良時代の日本は、中国（唐）の制度や文化を積極的に取り入れて国家の形を整えていました。『日本書紀』も中国の歴史書の叙述形式を模範としており、国の正史として漢文で記述されています。これは、当時の日本が東アジアの国際社会において自国の文明の高さを示そうとした背景も反映されています。
問10	答え 3 戸籍	誰にどれだけの土地を与えるべきかを判断するには、家族構成や年齢を正確に把握する必要があります。そのため、6年ごとに「戸籍」が作られ、これに基づいて「班田（土地を分け与えること）」と「収授（亡くなった人の分を回収すること）」が行われました。なお、毎年作成され税の徴収の基礎となったのは「計帳」です。
問11	答え 1 広い道路が通り、碁盤の目のように整然と区画されており、都の東西にある市では各地の産物が売買されていた。	平城京は南北に走る朱雀大路をはじめとする広い道路によって、碁盤の目のように規則正しく区画されていました。都の中には「東の市」「西の市」と呼ばれる官営の市場が設けられており、全国から集まった特産品が取引されるなど、経済の拠点としての役割も果たしていました。
問12	答え 4 鑑真	鑑真は、古代の日本から派遣された遣唐使の求めに応じ、日本に正しい仏教の戒律を伝えるために唐から招かれました。5回の渡航失敗や失明という苦難を乗り越えて来日し、唐招提寺を建立して日本の仏教制度の整備に大きく貢献しました。朱印船や中世というキーワードは、時代背景が異なるため誤りです。
問13	答え 4 唐招提寺	鑑真は来日後、まず東大寺に戒壇を築いて戒律を授けましたが、その後、自身の修行と門弟の育成のために唐招提寺を建立しました。この地は現在の奈良市にあり、平城京の面影を残す重要な歴史的拠点となっています。法隆寺は聖徳太子ゆかりの寺院であり、時代や建立の経緯が異なります。